

別添

都市再生整備計画(第3回変更)

ちばえきにしぐちしゅうへんちく
千葉駅西口周辺地区

ちばけん ちばし
千葉県 千葉市

平成27年2月

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(安全快適な駅前空間の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉駅東口に集中している交通機能の分散とともに、市民、来街者等が快適で安心して利用できる千葉駅西口駅前広場を整備する。 駅前広場、再開発ビル敷地内、修景広場など、緑化や空地を確保し、ゆとりとるおいが感じられる空間形成を行う。 	<p>高質空間形成施設・修景広場、歩行者支援施設(基幹事業/市) 高次都市施設・人工地盤等(基幹事業/市)</p>
<p>整備方針2(基盤整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 西口駅前周辺の利便性を高めるため、区画道路の整備を実施する。 電線共同溝による電線の地中化や下水道の整備を進め、都市景観やインフラの向上を図る。 	<p>道路・区画道路(基幹事業/市) 地域創造支援事業・下水道整備(提案事業/市)</p>
<p>整備方針3(地域の活性化)</p> <ul style="list-style-type: none"> 西口および臨海部への回遊性を促すため、修景広場及び千葉港黒砂台線歩道景観整備を行う。 	<p>高質空間形成施設・修景広場、千葉港黒砂台線歩道景観整備(基幹事業/市)</p>
<p>整備方針4(良好な景観形成及び賑わいの創出)</p> <ul style="list-style-type: none"> 千葉駅西口駅前広場の街路灯へのバナー広告の設置による広場の良好な景観の形成を図る。 千葉駅西口駅前広場を活用したオープンカフェやマーケット等の実施及びこれに伴う看板・広告等の設置による広場の賑わい創出及び魅力の向上を図る。 	<p>【道路占用許可特例制度】 バナー広告の設置 【道路占用許可特例制度】 オープンカフェやマーケット等の実施及びこれに伴う看板・広告等の設置</p>
<p>その他</p> <p>○千葉駅西口地区第二種市街地再開発事業(関連事業)</p> <p>千葉駅西口地区は千葉市の都心の一翼を担う地域として、更に臨海地域への玄関口としての位置にあるため、駅前広場等公共施設の整備と共に施設建築物を整備して、土地の合理的かつ健全な高度利用を図り、市民あるいは市外から訪れる人々に親しまれる街づくりを行なう。</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	608.2	交付限度額	243.2	国費率	0.4
うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	599.0	うち、社会資本整備総合交付金対象事業 計	239.5		
うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	9.2	うち、地域自主戦略交付金対象事業 計	3.7		

(金額の単位は百万円)

基幹事業①社会資本整備総合交付金														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		千葉港黒砂台線	千葉市	直	L=260m	平成元年度	平成25年度	平成25年度	平成26年度	376.2	55.9	55.9	0.0	55.9
		市道新千葉24号線	千葉市	直	L=23m	平成2年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	3.1	3.1	3.1	0.0	3.1
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		-			-									
駐車場有効利用システム		-			-									
地域生活基盤施設		-			-									
高質空間形成施設	(緑化施設)	千葉港黒砂台線	千葉市	直	L=260m	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	12.5	12.5	12.5	0.0	12.5
	(緑化施設)	千葉駅西口駅前広場	千葉市	直	A=1,200㎡	平成23年度	平成25年度	平成24年度	平成25年度	43.2	43.2	43.2	0.0	43.2
	(歩行者支援施設)	千葉駅西口駅前広場	千葉市	直	L=90m	平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	40.9	40.9	40.9	0.0	40.9
高次都市施設	(人工地盤等)	千葉駅西口駅前広場	千葉市	直	A=840㎡	平成19年度	平成26年度	平成24年度	平成25年度	895.0	443.4	443.4	0.0	443.4
地方都市リノベーション推進施設														
生活拠点施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,370.9	599.0	599.0	0.0	599.0

基幹事業②地域自主戦略交付金

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		千葉港黒砂台線	千葉市	直	L=260m	平成元年度	平成25年度	平成24年度	平成24年度	9.2	9.2	9.2	0.0	9.2
合計										9.2	9.2	9.2	0.0	9.2

※交付期間内事業期間は平成24年度以降を記載

※H24以降を記載

※H24以降分を記載

基幹事業 総計(①+②)

総計										1,380.1	608.2	608.2	0.0	608.2
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---------	-------	-------	-----	-------

協定制度等の取り組み

官民連携によるエリアマネジメント方針等

事業番号	事業	事業の目的/事業によって解決される課題	事業期間	事業主体	道路占用許可特例(都市再生特別措置法46条10項)	都市再生整備歩行者経路協定(都市再生特別措置法46条12項)	都市利便増進協定(都市再生特別措置法46条13項)	河川敷地占用許可(都市再生特別措置法46条10項)
1	●街路灯へのバナー広告の設置 千葉駅西口駅前広場の街路灯へ形状・デザイン等統一感のあるバナー広告を設置し、適切に維持管理する。	バナー広告の設置により、広場の良好な景観形成を図るとともに、広告料収入を地域貢献の取組みに充当することで地域の活性化を図る。	H26	商店街組合等 公募選定された事業者	○			
2	●オープンカフェ、マーケット等(食事施設・購買施設等)の実施 千葉駅西口駅前広場においてオープンカフェやマーケット等を実施するとともに、これに伴う看板・広告等を設置する。	オープンカフェ、マーケット等の実施及びこれに伴う看板・広告等の設置により、広場の賑わい創出や魅力向上を図る。	H26	商店街組合等 公募選定された事業者	○			
3								
4								
5								
6								

その他

○事業主体(占用主体)について

1. 商店街組合等とは、地域の事業者等や市民、大学等により構成され、自ら地域の意見調整等を行うことができるもので市長が認めたものとする。
 - ①商店街組合等(例:「○○商店街協同組合」、「□□商店街振興組合」、「△△管理組合」等)
 - ②協議会等(例:「千葉市中心市街地まちづくり協議会」、「千葉駅前大通り景観形成推進協議会」等)
 - ③実行委員会等(例:「パラソルギャラリー実行委員会」、「千葉都心イルミネーション実行委員会」等)
2. 暴力団又はその構成員の統制下にある法人等及び暴力団員その他の反社会的勢力に属する者は占用主体となることができないものとする。
3. 占用主体は、千葉市暴力団排除条例(平成24年6月28日千葉市条例第36号)の規定を遵守するものとする。

制度別詳細1(道路占用に関する事項)都市再生特別措置法46条10項

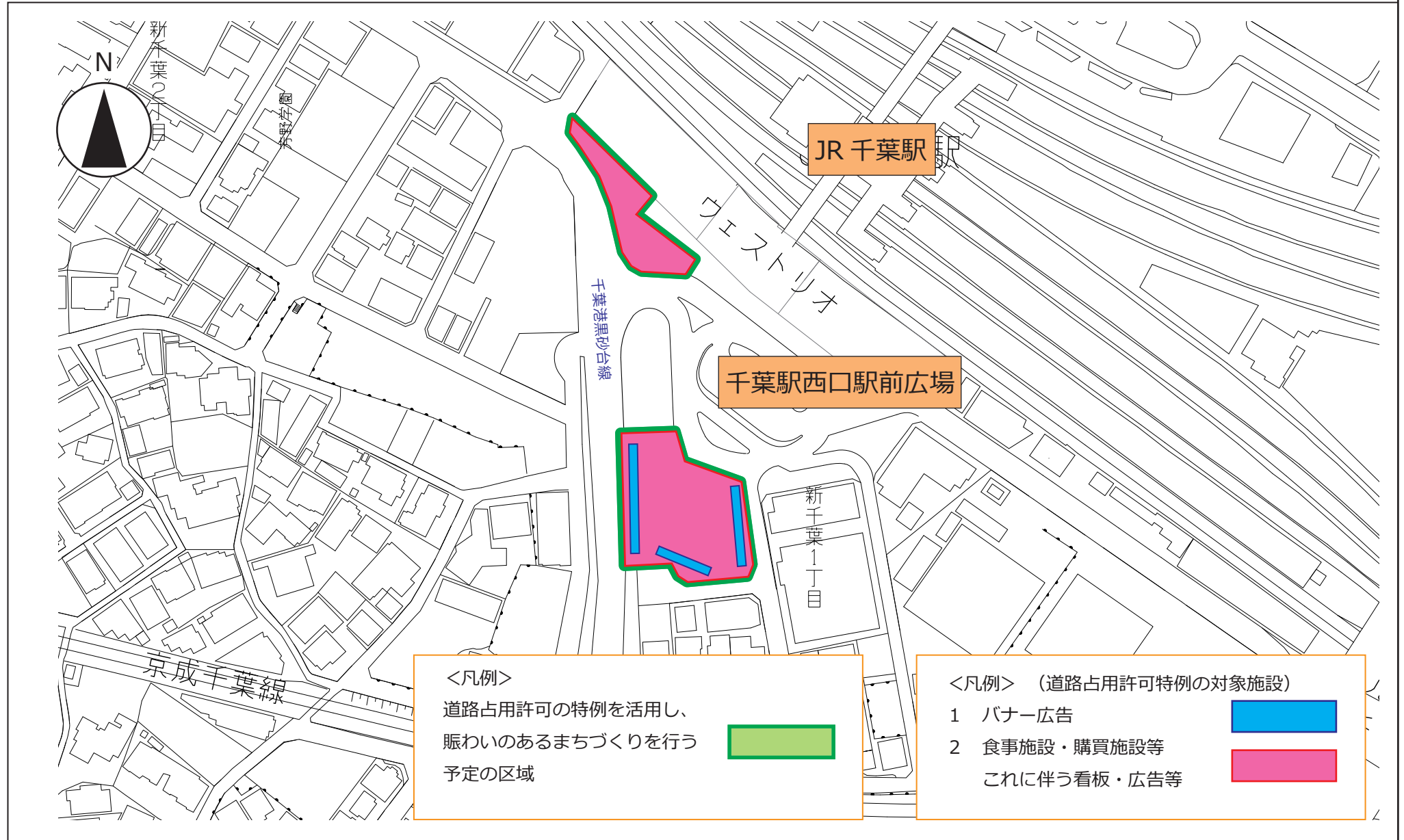
制度の活用計画		
占用対象施設	占用の場所	道路交通環境の維持 及び向上を図るための措置
1 街路灯へのバナー広告の設置	路線名:千葉港黒砂台線(千葉駅西口駅前広場)	<ul style="list-style-type: none"> ・広告の適切な維持管理により、良好な景観を保つ。 ・必要に応じ、広告周辺の清掃を実施する。
2 オープンカフェ、マーケット等(食事施設・購買施設等)の実施	路線名:千葉港黒砂台線(千葉駅西口駅前広場)	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンカフェ、マーケット等の周辺の清掃を実施する。 ・多数の利用者が見込まれる場合の歩行者の誘導、安全確保等を行う。
3		
4		
6		
7		
8		
9		

道路
占用
許可
特例
対象
施設

制度別詳細 1-2 (道路占用に関する事項)

制度別詳細【道路占用許可基準の特例】

制度を活用して整備・設置する施設等の配置を示す地図



1. 広告
(バナー広告)

ウェストリオ

西口駅前広場

千葉駅

位置図



【イメージ写真】
街路灯 (バナー広告)

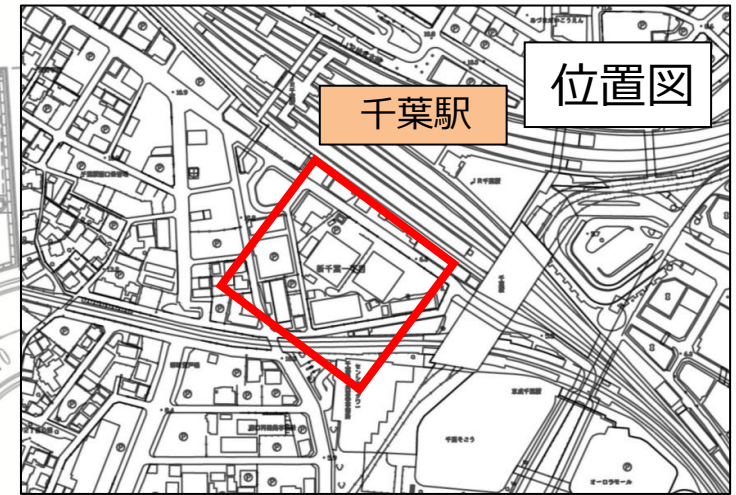
道路占用許可の特例を活用する
予定の区域



※バナー広告の最下部と路面との距離が2.5m
以上であること。

2. 食事施設・購買施設等

ウェストリオ



西口駅前広場



【設置範囲】



【設置範囲】 1000㎡程度

道路占用許可の特例を活用する予定の区域

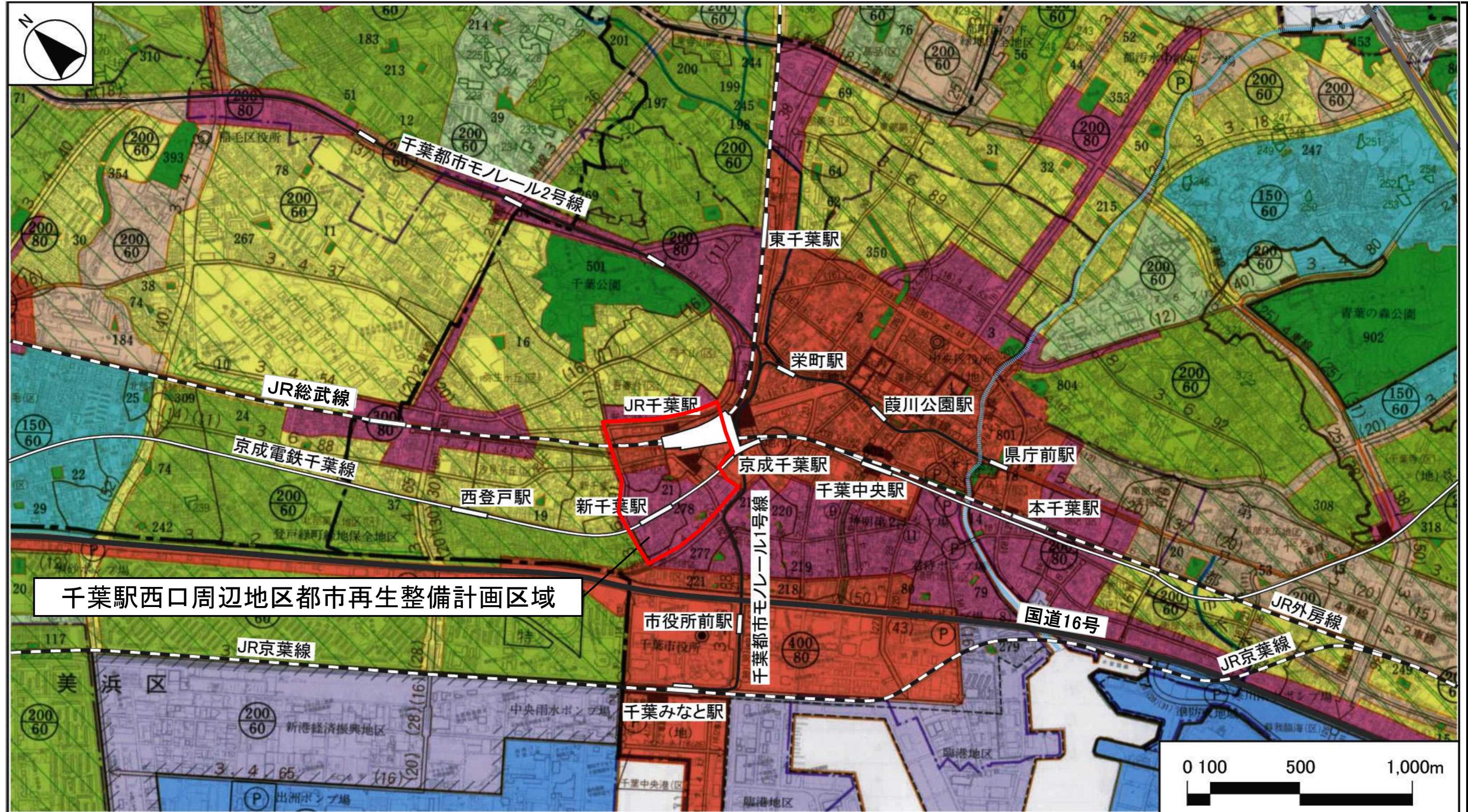
- ※有効幅員3.5m以上（対面販売等を行い、食事施設等の前に利用者が滞留する形態のものは4.0m以上）確保するものとする。

- ※誘導ブロックの機能を確保するものとする。



都市再生整備計画の区域

千葉駅西口周辺地区(千葉県千葉市)	面積	28.3 ha	区域	千葉市中央区新千葉1丁目、2丁目及び登戸2丁目、並びに新町及び弁天1丁目の各一部
-------------------	----	---------	----	--

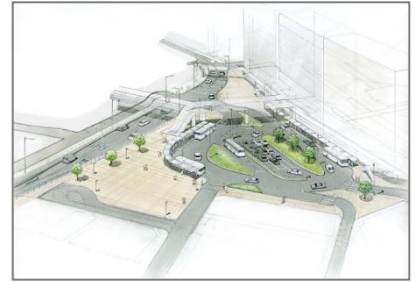


千葉駅西口周辺地区(千葉県千葉市) 整備方針概要図

目標	千葉駅西口及び臨海部の「玄関口」として風格ある基盤と空間を形成するとともに、都心業務機能の集積、高度化を図る街づくり	代表的な指標	西口地区利用者数 (人/日)	12,200 (22年度)	→	14,400 (26年度)
			高齢者等の千葉駅西口へのアクセス時間(秒)	260 (23年度)	→	180 (26年度)
			()	()	→	()



ペDESTリアンデッキ等整備イメージ



西口駅前広場整備イメージ

凡 例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業

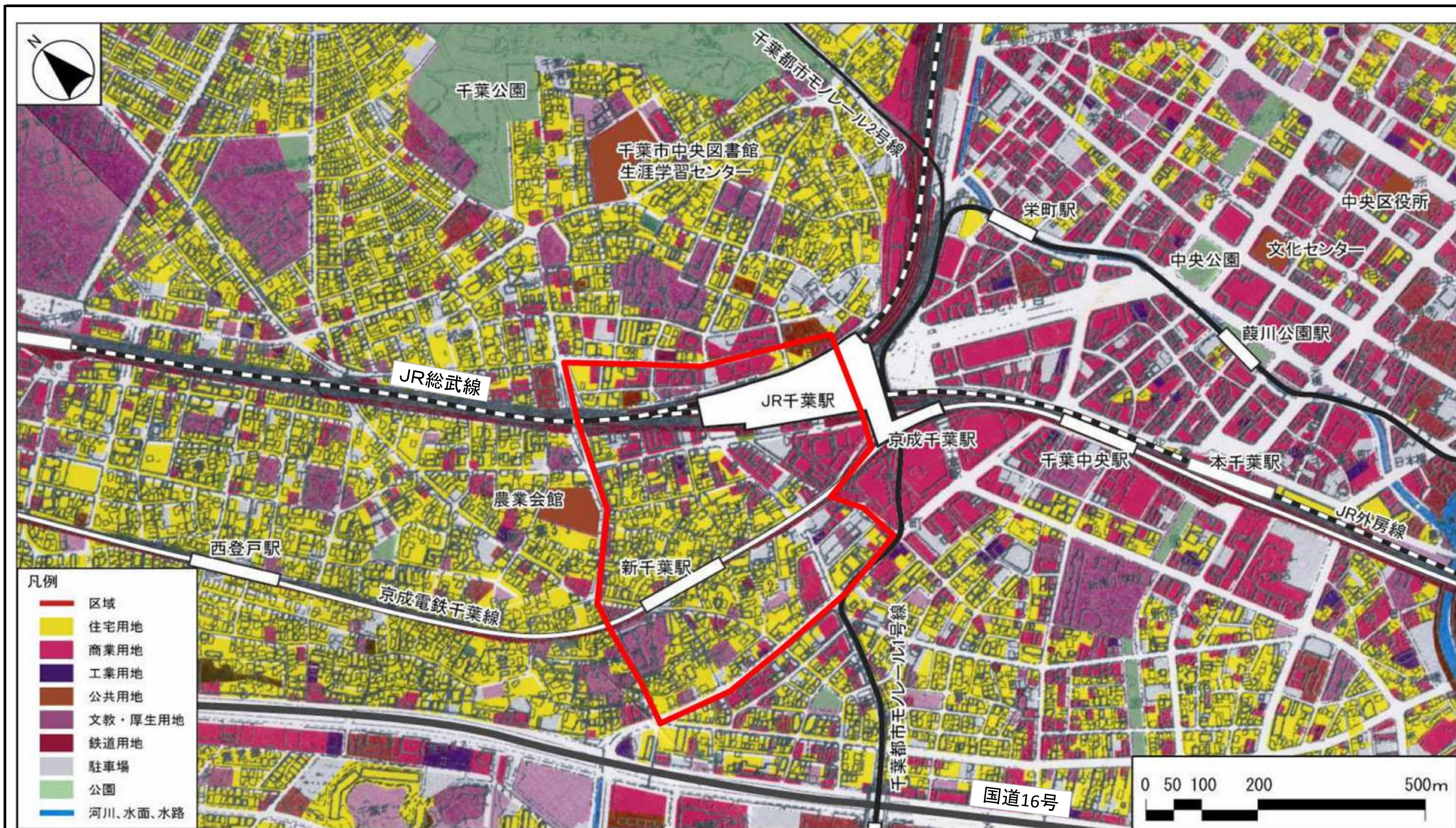
—— 都市再生整備計画事業区域
 - - - 市街地再開発事業区域
 道路占用許可の特例を活用し、賑わいのあるまちづくりを行う予定の区域

都市再生整備計画の添付書類等

交付対象事業別概要

ちばえきにしぐちしゅうへんちく ちばけんちばし
千葉駅西口周辺地区(千葉県千葉市)

千葉駅西口周辺地区(千葉県千葉市) 現況図



交付限度額算定表(その1)

千葉駅西口周辺地区(千葉県千葉市)

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	243.2 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	4,610.0 百万円	X≦Yゆえ、本計画における交付限度額	243.2 百万円
----------------------	-----------	-----------------------	-------------	--------------------	-----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

公共施設の上限整備水準	127,350
-------------	---------

区域面積(m ²)	283,000		
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	○	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
		最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
		その他の地域	0.40

単位面積あたりの標準的な用地費	531,780
-----------------	---------

標準地点数	2
公示価格の平均値(円/m ²)	262,500
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度(戸/m ²)	0.0017
標準補償費(円/戸)	44,000,000

	23,000
--	--------

	22,673
--	--------

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設		
施設名(事業名)	面積(m ²)	国庫補助事業費等(百万円)
千葉駅西口再開発事業	19,000	22,673
合計	19,000	22,673

公共施設の現況整備水準	91,692
-------------	--------

○ 整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	0.324
推定公共施設面積(m ²)	91,692

個別公共施設の積み上げ		
	面積(m ²)	割合
道路	-	
公園	-	
広場	-	
緑地	-	
公共施設合計	0	0

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	-1445 百万円
----------------------	-----------

	12,110,880,000
下水道	0 円
区域面積(m ²)	283,000
うち現況の供用済み区域面積(m ²)	
標準整備費(円/m ²)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
上限床面積(m ²)	9,400
標準整備費(円/m ²)	642,500

調整池	0 円
調整池の容積(m ³)	
標準整備費(円/m ³)	140,000

河川	0 円
河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円		
建設予定戸数(戸)	超高層		
	一般		
	合計	0	
標準整備費(円/戸)	超高層	一般	
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
一般地区	33,700,000	28,640,000	

○ 市街地再開発事業による施設建築物	7,628,280,000 円
施設建築物の延べ面積(m ²)	57,790
標準共同施設整備費(円/m ²)	132,000

○ 電線共同溝等	30,600,000 円
電線共同溝等延長(m)	45
標準整備費(円/m)	680,000

○ 人工地盤	4,452,000,000 円
人工地盤の延べ面積(m ²)	840
標準整備費(円/m ²)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円	
大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	4,610 百万円
---------------------	-----------

要綱第5に掲げる式による限度額算定

交付対象事業費	基幹事業(A)	608 百万円
	提案事業(B)	0 百万円
	合計	608 百万円

[1]式	$\alpha 1=4(A+B)/5=$	487
[2]式	$\alpha 2=10A/9=$	676
	交付限度額(X)	243.2 百万円

- 交付要綱第5 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 交付要綱第5 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 4)式の適用の場合、経過措置の適用

交付限度額算定表(その2)

千葉駅西口周辺地区(千葉県千葉市)

交付要綱第5に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	608.200	A (事業費)	⇒	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	243.280	① (国費)
	提案事業合計(B)	0.000	B (事業費)		2)式で求まる額(5/9*A)	337.889	② (国費)
	合計(A+B)	608.200	(事業費)		上記①、②の小さい方	243.280	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.000			国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒	③式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)		③式の適用後(適用がある場合は3式反映)	243.280	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)		③式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	⇒	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	243.280	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)		執行額を足した額	243.280	⑨ (国費)
					補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	243.280	⑩ (国費)
					補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	⇒	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)		適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)	⇒	適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))		⑭ (国費率)
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)		4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)		⑮ (国費)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)				

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	243.280	⑯ (国費)
--------------	---------	--------

○交付限度額、国費率の算出

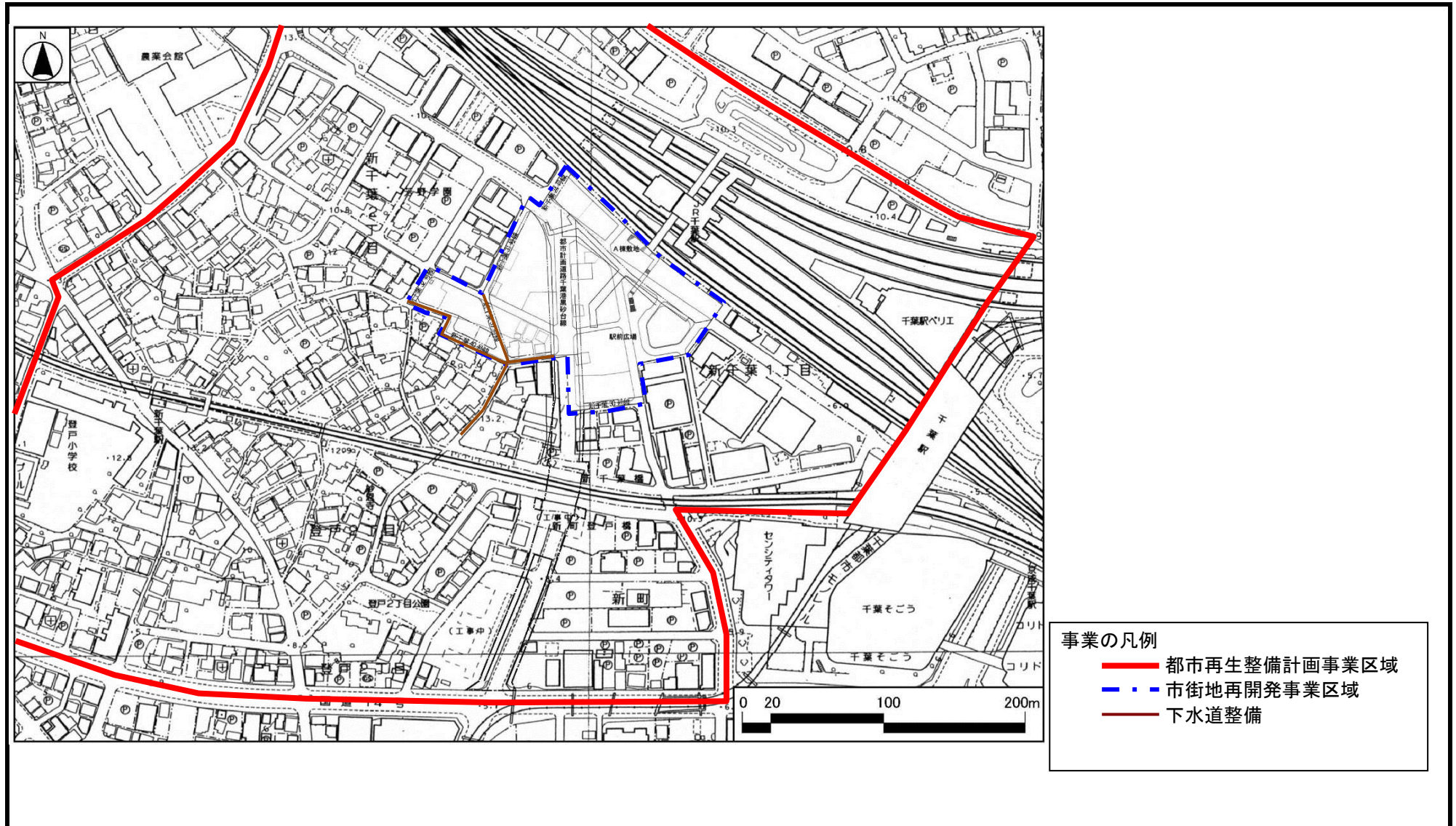
交付対象事業費(A+B)	608.2	(事業費)	⇒	交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	243.2	⑰ (国費)
				国費率	0.400	⑱ (国費率)

年次計画

(事業費:百万円)

基幹事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
道路		千葉港黒砂台線	千葉市	65.1	9.2	45.4	10.5	
		市道新千葉24号線	千葉市	3.1		3.1		
		市道新千葉31号線	千葉市	0.0		0.0		
		市道新千葉32号線	千葉市	0.0		0.0		
		市道新千葉37号線	千葉市	0.0		0.0		
		市道新千葉40号線	千葉市	0.0		0.0		
公園								
河川								
下水道								
駐車場有効利用システム								
地域生活基盤施設								
高質空間形成施設	(緑化施設等)	千葉港黒砂台線	千葉市	12.5		12.5		
	(緑化施設等)	千葉駅西口駅前広場	千葉市	43.2	0.1	43.1		
	(歩行者支援施設)	千葉駅西口駅前広場	千葉市	40.9		40.9		
高次都市施設	(人工地盤等)	千葉駅西口駅前広場	千葉市	443.4	49.8	393.6		
既存建造物活用事業								
土地区画整理事業								
市街地再開発事業								
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型							
	沿道等整備型							
	密集住宅市街地整備型							
	耐震改修促進型							
街なみ環境整備事業								
住宅地区改良事業等								
都心共同住宅供給事業								
公営住宅等整備								
都市再生住宅等整備								
防災街区整備事業								
計				608.2	59.1	538.6	10.5	
提案事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
地域創造 支援事業	下水道	千葉駅西口地区	千葉市	0.0		0.0		
事業活用 調査								
まちづくり活 動推進事業								
計				0.0	0.0	0.0	0.0	
合計				608.2	59.1	538.6	10.5	
累計進捗率 (%)					9.7%	98.3%	100.0%	

提案事業 地域創造支援事業設計図「下水道整備」



道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 <small>注1)</small>	事業 主体	事業 手法 <small>注2)</small>	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 <small>注3)</small>	都市計画 決定 年月	備考 <small>注4)</small>
							整備前 m	整備 m							
千葉港黒砂台線	登戸2丁目～ 新千葉2丁目	街	千葉市	-		260	11	22	2	4.5	65.1	H24～H26	案内標識設置,電線共同溝整備,道路情報提供装置設置	昭和49年3月	
市道新千葉24号線	新千葉2丁目～ 新千葉2丁目	市	千葉市	-		23	5.5	8		2	3.1	H25～H25	拡幅		

(参考)

<関連事業>															

* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

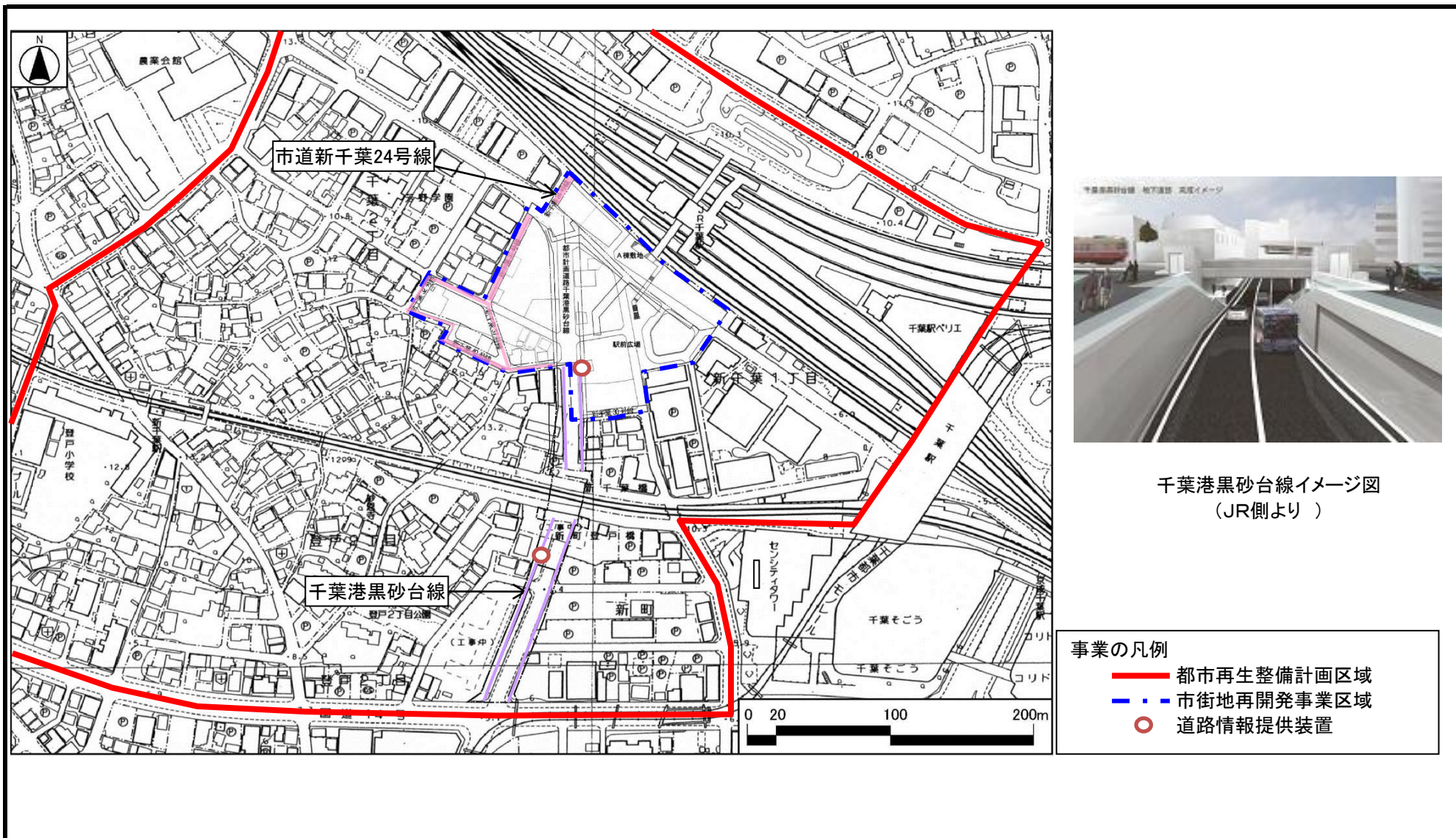
(例)・道路改築:交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

* 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。

* 不足する場合は適宜行を追加すること

基幹事業 道路整備設計図



千葉港黒砂台線イメージ図
(JR側より)

- 事業の凡例
- 都市再生整備計画区域
 - - 市街地再開発事業区域
 - 道路情報提供装置

地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地									
広場									
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地									
情報板									
地域防災施設									
合計									

- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

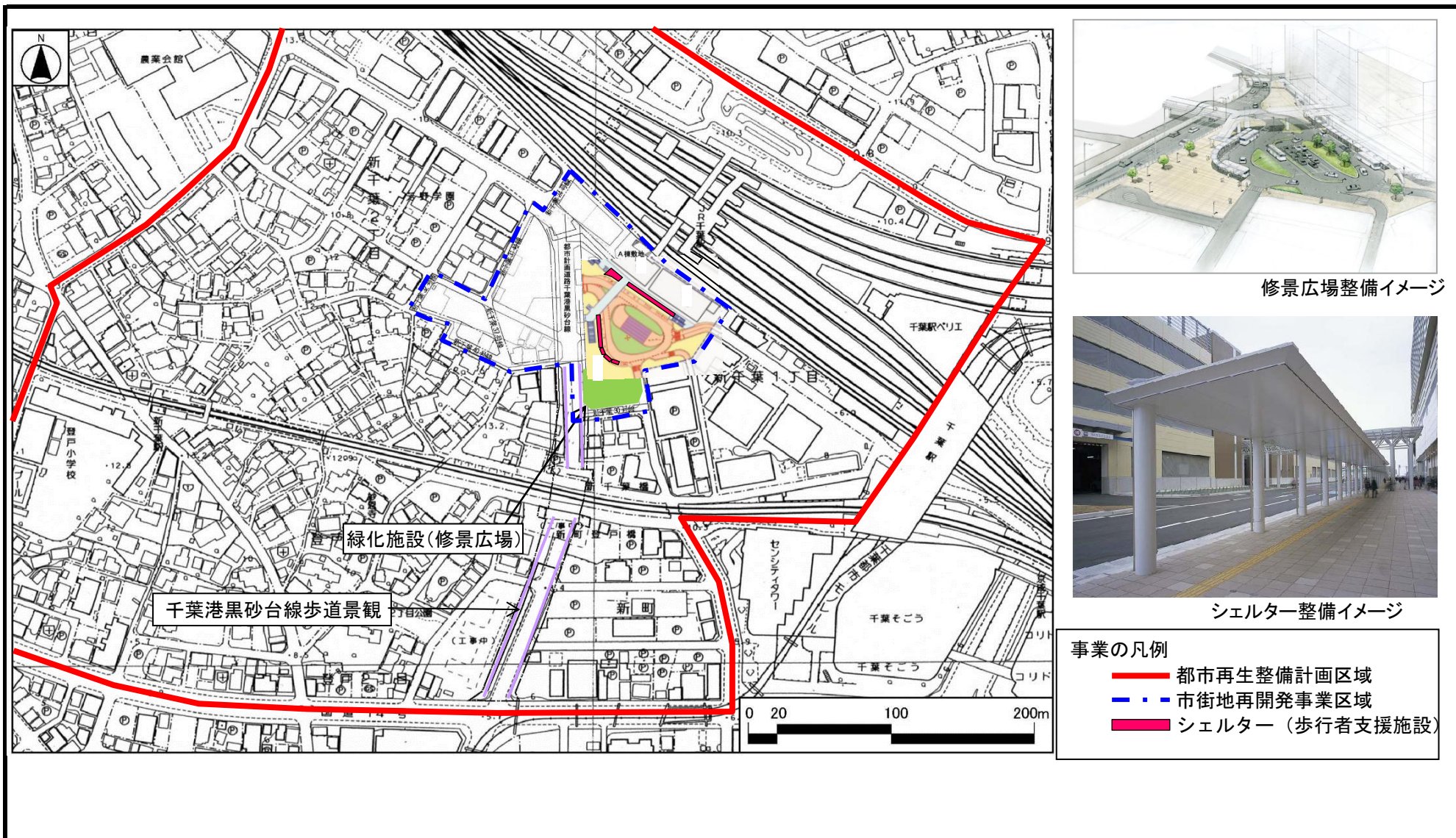
高質空間形成施設

単位:百万円

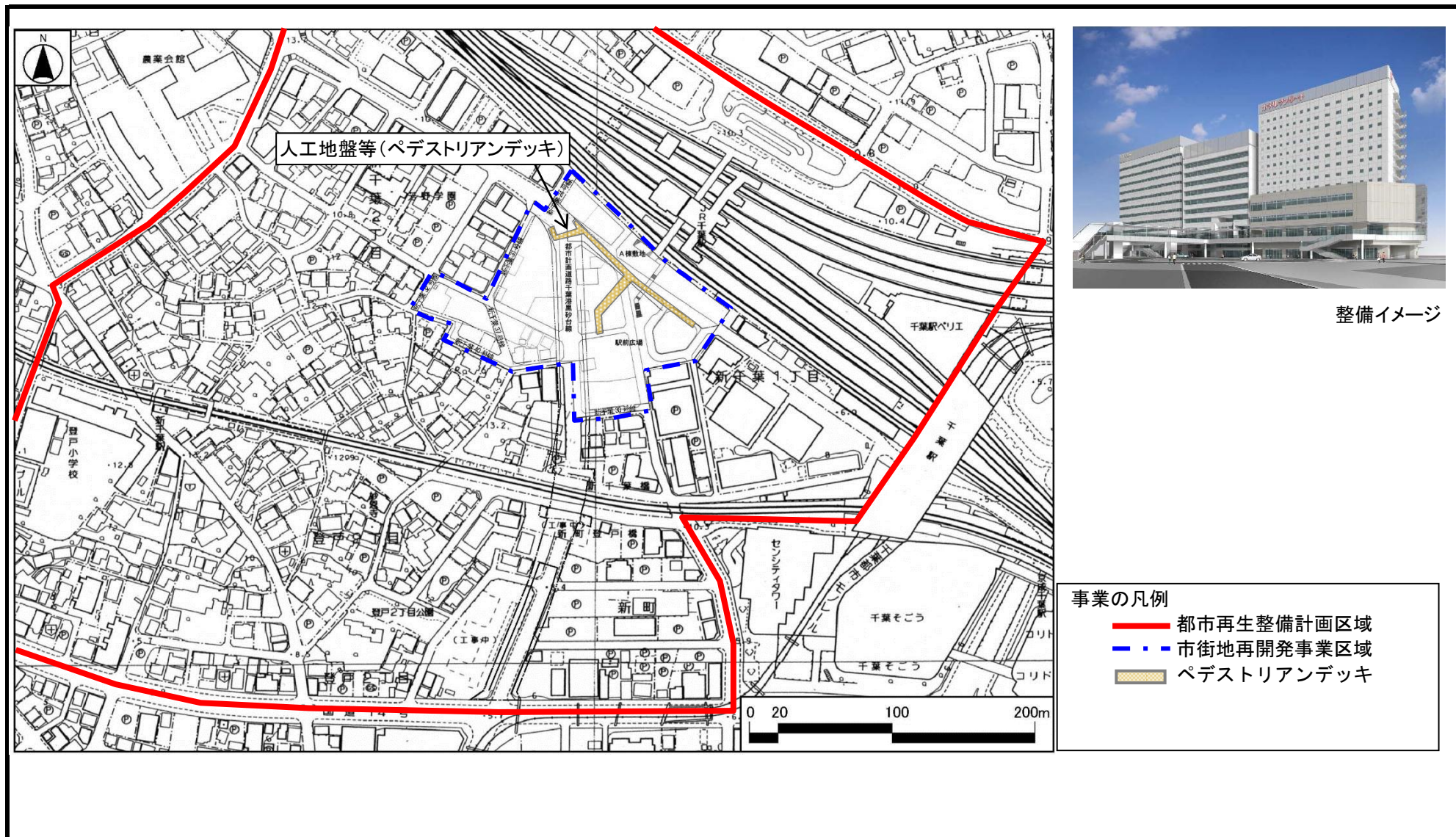
交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考	
					設計費	用地費	施設整備費		
							うち購入費		
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント等)	千葉港黒砂台線	千葉市	歩道景観整備 L=260m	12.5			12.5		・植栽等
	千葉駅西口駅前広場	千葉市	修景広場 1,200㎡	43.2			43.2		
歩行支援施設、障害者誘導施設等	千葉駅西口駅前広場	千葉市	シェルター L=90m	40.9			40.9		
合計	—	—	—	96.6	0.0		96.6		

- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「電線類地下埋設施設」は、備考欄に地中化の方式(自治体管路等)を記入。
- ・「緑化施設等」及び「電線類地下埋設」について、道路区域内で整備する場合は、備考欄に道路の都市計画決定の有無、道路の改築を伴うか否かを記入。
- ・「緑化施設等」について、施設名欄、概要欄に整備内容を具体的に記入。

基幹事業 高質空間形成施設「緑化施設」「歩行者支援施設」設計図



基幹事業 高次都市施設「人工地盤等」設計図



整備イメージ

事業の凡例

- 都市再生整備計画区域
- - 市街地再開発事業区域
- ペDESTリアンデッキ